

栄養士・管理栄養士の地域連携

における役割とネットワークづくり

The role of the registered dietician in collaboration in Mimasaka area, and networking between registered dietitians

人見 哲子*1 ・保田 芳枝*1 ・曾我 郁恵*2 ・藤井わか子*3

Tetsuko HITOMI, Yoshie YASUDA, Ikue SOGA, Wakako FUJII

1. はじめに

県北唯一の栄養士・管理栄養士養成施設である美作大学では、平成20年に岡山県美作地域で栄養士・管理栄養士として働いている方を対象に、「はばたけ栄養士の会」と称して、勉強会を発足し、本年度で8年目となる(図1)。

栄養士・管理栄養士は、その責務として、健康づくりの推進に重要な役割を果たすことが求められている。こうした社会のニーズに応えるためには、常に勉強し、高い資質を備え、地域と連携し、また職域を超えたネットワークを作ることが重要である。そこで、「はばたけ栄養士の会」では、継続的に勉強会を開催し互いに研鑽を積み、栄養士・管理栄養士相互のネットワークづくりに貢献することを目的に活動している。ここでは平成27年度の活動内容を紹介しながらその概要を報告する。

2. 方法

1) 対象者

対象者は、美作地域の病院、学校、福祉施設、保育所、企業、行政機関などに勤務する栄養士・管理栄養士とした。また、内容によって本学在生学生も対象とした。

なお、対象とした美作地域は、津山市、真庭市、美作市、新庄村、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町及び美咲町の、3市5町2村である(人口227,907人、高齢化率33.5%)(図2)。

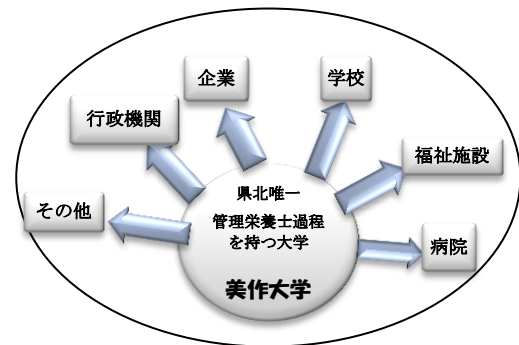


図1 はばたけ栄養士の会

*1 美作大学生活科学部食物学科 准教授 Assoc.Prof., Dept. of Food Science, Mimasaka Univ.

*2 美作大学生活科学部食物学科 助手 Research Associate, Dept. of Food Science, Mimasaka Univ

*3 美作大学短期大学部栄養学科 教授 Prof., Dept. of Nutrition Science, Mimasaka Junior College. M.ph.D

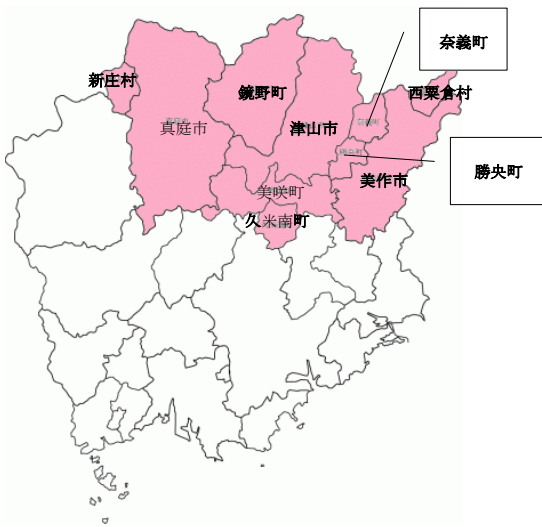


図2 対象とした地域

2) 開催要領

- ・期間:平成 27 年 6 月～28 年 3 月
- ・開催日時:第 2 または第 3 月曜日の
午後 19 時～21 時
但し第一回については土曜日開催
- ・場所:美作大学 本館3階講義室 32H
- ・内容:食事摂取基準改定にむけた勉強会
- ・参加費:1,000 円

3. 結果および考察

平成27年度は、日本人の食事摂取基準改定に伴い、テーマを食事摂取基準(2015年版)とし、県内外および学内教員からその分野の有識者を講師として招き講演会をおこなった。また、それに関連したワークショップそして会員相互の親睦を深めるための視察研修会、企業協賛研修、反省会などを行った。参加者は、20～50/回、延べ人数 233 名であった(表1)。具体的活動内容について以下に示す。

1) 食事摂取基準に関する内容

①勉強会スケジュール全8回のうち「日本人の食事摂取基準」の内容の講演会を6回行った(図3)。なかでも第1回の京都府立大学大学院生命環境科学研究科教授木戸康博氏の講演会は食事摂取基準策定委員であったことから、今年度最高の参加者であった。



図3 食事摂取基準講演会

②食事摂取基準の活用の実際と題して、津山中央病院栄養課課長橋本美由紀氏をコーディネーターとして、参加者が自ら参加・体験しグループの相互作用の中で学びあうワークショップを開催した。パネラーとして、5施設の病院および福祉施設の管理栄養士に、事例発表をしていただき意見交換を行った。参加者は、他施設の業務内容を知ることができ貴重な情報を得ることができた(図4)。



図4 ワークショップ

表1 平成27年度美作地域栄養士勉強会 日程・内容

年月日	テーマ・スケジュール	講師	参加人数
平成27年 6月27日(土) 13:00～16:00	日本人の食事摂取基準 2015 各論:ビタミン(B ₁ 、B ₂)、 ミネラル(Na、K、Ca)	京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 教授 木戸 康博 先生	51人
7月20日 (月)	食事摂取基準を理解するための基本	美作大学生活科学部食物学科 講師 芳野 憲司 先生	22人
10月13日 (火)	視察研修 山田養蜂場工場見学 津山市戸島食育センター(午前) 津山中央病院 (午後)		23人
10月26日 (月)	日本人の食事摂取基準 2015 各論(ビタミン、ミネラル)	ノートルダム清心女子大学 食品栄養学科 教授 菊永 茂司 先生	42人
11月9日 (月)	日本人の食事摂取基準 2015 ～生活習慣病とエネルギー・ 栄養素～	川崎医療福祉大学 医療技術学部臨床栄養学科 教授 寺本 房子 先生	24人
12月7日 (月)	食事摂取基準 2015 (対象特性別)	美作大学短期大学部 准教授 橋本 賢 先生	23人
平成28年 1月18日 (月)	食事摂取基準の活用 の実際 ワークショップ <u>*資料提供</u> 津山市立一宮保育所 管理栄養士 内田 恭子様 こども保健部健康増進課 管理栄養士 森田 佳子様	コーディネーター 津山中央病院 栄養科副部長 橋本 美由紀 様 パネラー 津山市立戸島学校食育センター 所長 本澤 玲子先生 芳野病院 管理栄養士 砂田 眞紀 様 特別養護老人ホーム日本原荘 管理栄養士 神田かおり 様 三村医院 管理栄養士 福原 忍 様 積善病院 栄養課課長 松野 智子 様	25人
2月22日 (月)	企業協賛研修 味の素ニュートリション株式会社 反省会 27年度まとめ	中国・四国支部所長 松永 崇 様 中国・四国営業所 高松オフィス 管理栄養士 佐々木 文伸 様 中国・四国営業所 岡山オフィス 管理栄養士 安藤 みなみ 様	23人

2) 視察研修

視察研修では、山田養蜂場工場見学を行い、近隣にこのような大きな工場があることに誇りとして品質管理、製造工程など実際に触れることができました。

津山市戸島食育センターにおいて大規模な給食施設の見学と、実際に学校給食を試食させていただいた。大規模な給食施設を見学させていただく中でアレルギーや衛生面など様々な対応をしなければいけないと感

じ取ることが出来、栄養士・管理栄養士の役割の大切さに痛感した。

津山中央病院において中国・四国地方初のがん陽子治療センターの最新施設を案内いただき、最先端医療を視察させていただき厨房内も見学させていただいた。働く栄養士・管理栄養士にとって、またとない大変貴重な体験となった。

今回の視察研修会は、近隣を計画したことによって、内容も充実し、また、会員相互の親睦も図ることができ、目的を達成できたのではないかと思われる。

3) 企業協賛研修

企業協賛研修では、味の素ニュートリション株式会社からお二人の管理栄養士に講演をいただいた。栄養士・管理栄養士にとって、企業の製品について知識を得ることは大変重要であるとあらためて理解できた(図5)。



図5 企業協賛研修

4. まとめ

本学が中核となり美作地域の栄養士・管理栄養士の資質向上と地域連携そしてネットワークづくりなどの充実に向けて取り組んできた。その結果、“異なる職場で活躍している仲間の業務内容を知ることにより、柔軟で多様な視野の広い業務に役立った。”などの意見があり、美作地域の栄

養士・管理栄養士相互の連携とネットワークづくりに少しでも貢献できたのではないかとと思われる。また、現在日本では2人に1人が、がんに罹患し、3人に1人は死亡する現状の中で、最先端医療を視察することができ、大変貴重な体験ができた。

参加人数は必ずしも多くなかったが、地方で行う研修会としては大変意義深い内容であった。

5. 今後の課題

「はばたけ栄養士の会」の活動としては、まだ十分とは言えず、県北唯一の栄養士・管理栄養士養成施設の本学として、更に目的達成のため機能の充実を図って行きたい。

謝辞

本勉強会を進めるにあたり、多大なるご協力を賜りました学内外関係者、関係機関の皆様には厚くお礼申し上げます。記して謝意を表します。